

環境経営レポート

2023年度

対象期間：2023年5月1日～2024年4月30日



藤井設備工業株式会社

発行日：2024年7月20日

改定日：2025年1月21日

□ ごあいさつ

予想速度を上回るAIの進化。いよいよパラダイムシフトが実感できるような時代になってきました。また、地球温暖化の影響で海産物が北へシフトしていると言われています。長い間、慣れ親しんだこの国の文化にまで変化を強いられるようになりました。

経営環境においては、小規模事業所は生産性が悪いと言われており、生産性の低い中小企業の在り方が問われています。国際環境の変化が原材料の高騰などの要因をつくり、地方の中小企業においても即影響が出る時代になりました。意識高く生産性向上に取り組まなければ淘汰される時代だとも言えます。

引き続きカスタマイズ可能なITユーティリティにより、現実の業務の仕組化、環境に適応したルール化を進めていき、この機会に「環境経営」を推進することで次世代の経営を目指していきます。

環境経営方針

□ 基本理念

藤井設備工業株式会社は「水と未来を考え、心が通い合う循環を創り出す。」を経営理念に命と恵みの源泉である水を安全確実にお客様のもとへ届け、再び自然に返すしくみづくりを通して社会に貢献してまいりました。昨今深刻化している環境問題、とりわけ地球温暖化は地球が私たちに発している悲鳴と考えています。当社は経営における課題とチャンス定期的に明確化し、事業活動のあらゆる分野で環境の保全と環境負荷の削減に取り組み、未来を担う子供たちが美しい自然環境と共に永続的に繁栄出来る循環型社会の構築に貢献してまいります。

□ 行動指針

- 1 ICTを活用した業務効率化による環境負荷の低減
- 2 エネルギー使用量の効率的利用によりCO2の削減に努める。
- 3 廃棄物の排出量の削減およびリサイクルの推進に努める。
- 4 水使用量の削減に努める。
- 5 環境関連法規制等及び社内ルールを遵守する。
- 6 環境経営方針は、全従業員に周知する。
- 7 環境経営目標・活動計画を定め、継続的改善に努める。

制定日：2010年5月31日

改定日：2023年5月1日

藤井設備工業株式会社

代表取締役

藤井一博

【組織の概要】

（１）事業者名及び代表者氏名

藤井設備工業株式会社 代表取締役 藤井一博

（２）所在地

（本 社）兵庫県小野市敷地町1382番地

（３）設立・資本金

創 業 1963年3月 設立 1974年11月

資本金 2000万円

（３）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

（責任者 藤井 健二(取締役)

（担当者 藤井 景子（経理・総務）

・ TEL：0794-63-4912 FAX：0794-63-4913

（４）事業内容

管工事、水道施設工事

建設業許可番号）兵庫県知事許可 351230号

（５）事業の規模（2023年度）

（完成工事高）31,749万円

（工事数） 85件

（従業員数）本社：8名

（床面積）本社：153m²

（６）事業年度

5 月 ～ 翌年 4 月

【対象範囲】認証・登録

■全組織、全活動が対象範囲

（登録組織名）藤井設備工業株式会社

（対 象 組 織）本社

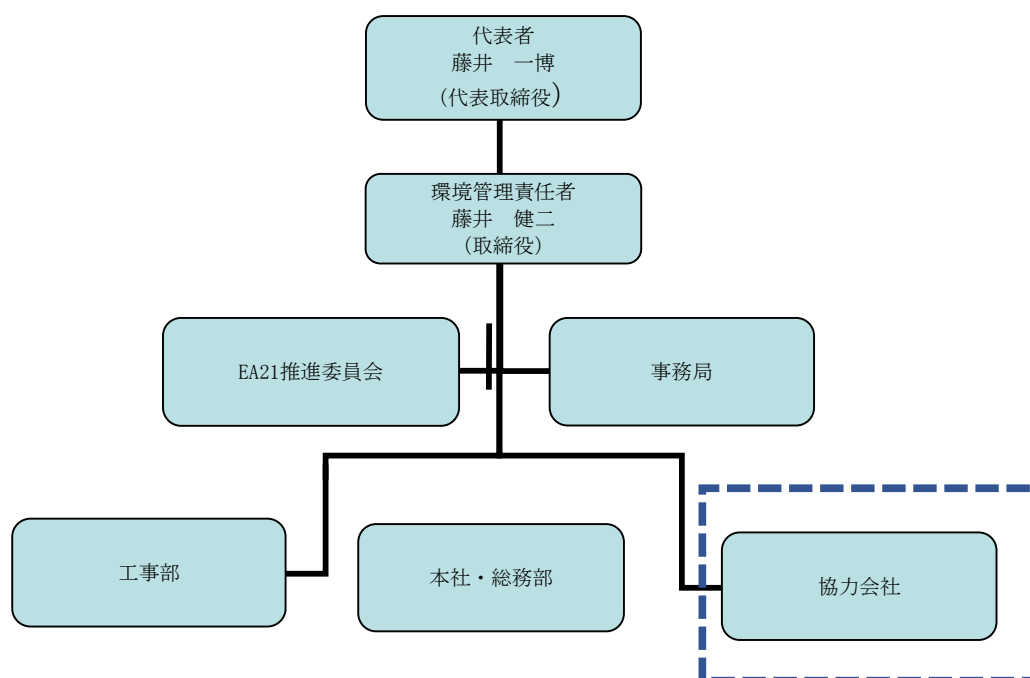
全組織（現場含む）が対象

（事 業 活 動）全活動が対象

管工事、水道施設工事

制定日:2015年2月9日

更新日:2023年5月1日



〈主な役割・責任・権限〉	
代表者	① 環境経営に関する統括責任 ② EA21の運用・維持するための経営資源を用意する ③ 環境経営方針の制定と周知 ④ 環境経営レポートの確認・承認 ⑤ 全体の評価と見直し・指示を実施 ⑥ 経営における課題とチャンスの作成
環境管理責任者	① 環境経営レポートの作成 ② 環境関連法規などの取りまとめ表の作成 ③ EA21推進委員会の取りまとめ ④ 外部からの苦情や要望等の受付と対応処理 ⑤ 緊急事態の想定及び対策の作成、訓練の実施と確認 ⑥ 問題点の是正処置及び予防処置の対応、結果の確認
EA21推進委員会	① 環境経営活動目標及び計画の検討、立案 ② 環境経営活動の実績の確認・評価 ③ 推進委員会は月1回実施する。
事務局	① 文書及び記録の管理
全従業員	① 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ② 積極的に環境活動へ参加する

【 主な環境負荷の実績】

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
電力使用量CO2排出量	kg-CO2	2,415	2,209	3,015
ガソリン使用量CO2排出量	kg-CO2	10,627	9,925	8,501
軽油使用量CO2排出量	kg-CO2	15,002	7,245	8,731
灯油使用量CO2排出量	kg-CO3	1,942	2,315	1,848
CO2排出量合計	kg-CO2	29,986	21,694	22,095
産業廃棄物排出量	kg	531,770	479,840	551,180
水使用量	m ³	203	194	192

※ 2022年度電気事業者別二酸化炭素調整後排出係数：関西電力株式会社 0.434kg-CO2/kWh

※ガソリン：二酸化炭素排出係数 2.32kg-CO2/L 軽油：二酸化炭素排出係数 2.58kg-CO2/L

【 環境経営目標・実績】 ※削減率＝（実績÷基準値）100％基準を適用 ※化学物質使用なし、目標設定なし
□ 本社

環境経営目標	単位	基準年度 2018- 2020年度	2023年度		2024年度	2025年度
		(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
売上高 (a)	百万円	308		371		
電力使用量 (b)	kWh	8569		6,948		
電力使用量原単位 (b/a)	kWh/百万円	27.8	27.0	18.7	26.7	26.7
	基準年度比	100%	97%	67%	96%	96%
ガソリン使用量 (c)	L	5178		3,664		
ガソリン使用量原単位 (c/a)	L/百万円	16.8	16.3	9.9	16.1	16.1
	基準年度比	100%	97%	59%	96%	96%
水使用量の削減	m ³	207	201	192	199	199
	基準年度比	100%	97%	93%	96%	96%
灯油使用量	L			742		
I C Tを活用した業務効率化の推進	5月～4月				アプリ開発支援の勉強会を行い 自社に合ったアプリを作成	

※灯油は基準値を設定するため(使用量のみ)

□ 現場

環境経営目標	単位	基準年度 2018- 2020年度	2023年度		2024年度	2025年度
		(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
軽油使用量 (e)	L	3,754		3,384		
軽油使用量原単位 (e/a)	L/百万円	12.2	11.8	9.1	11.8	11.7
	基準年度比	100%	97%	75%	97%	96%
産業廃棄物 (d)	kg	405,413		551,180		
産業廃棄物 リサイクル量	kg			538,841		
産業廃棄物 リサイクル率	%		97%	97.8		
産業廃棄物原単位 (d/a)	kg/百万円	1,316	1,277	1,486	1,277	1,264
	基準年度比	100%	97%	113%	97%	96%

＊ 3 年の平均を採用する理由：電力使用量は年により暖冬等使用量が変化するため、燃料使用量、産業廃棄物は、景気等の外的要素で変化するため。

□ 環境経営計画の取組内容とその評価、次年度の取組内容

＜本社＞ ※達成率＝（目標÷実績）×100％ ○達成した △不十分 ×未達成

取り組み計画	達成状況	継続／変更	評価と次年度の取り組み内容
電力使用量の削減	達成率	144%	(目標達成) ・ エアコンの温度調整や扇風機、サキュレーターなど①、②、③を実施した結果、目標を達成した。 (昨年7,102kwh→本年6,948kwh) (次年度) ・ 次年度も①、②、③を継続実施する。④引き続き、エアコンの更新を検討する
①空調の適温化を徹底する	○	継続	
②室外機まわりの清掃	○	継続	
③昼間の事務所内の不要ね照明の消灯	○	継続	
④エアコンの更新を検討する。		次年度	
自動車燃料（ガソリン使用量）の削減	達成率	165%	(目標達成) ・ ①、②、③を実施し、使用量が昨年より減少していた結果、目標を達成した。 (昨年4,277L→本年3,664L) (次年度) ・ 次年度も①、②、③を継続実施する。
①不必要なアイドリングをしない	○	継続	
②定期的なオイル交換・タイヤ空気圧点検	○	継続	
③ネットを活用し外出頻度をすくなくする	○	継続	
水道使用量の削減	達成率	105%	(目標達成) ・ コロナ対策をしながら、無理のない範囲内で①を実施し目標を達成した。 (次年度) ・ 次年度も無理のない範囲内節水に努めること。 次年度は、維持項目とする。
①手洗時や洗い物においては日常的に節水を心がける	○	継続	
②定期的に漏水の調査をする	○	継続	

＜現場＞

取り組み計画	達成状況	継続／変更	評価と次年度の取り組み内容
自動車燃料（軽油使用量）の削減	達成率	129%	（目標達成） ①、②、③を実施し、目標を達成した。 - 市内の外注割合が多い現場が今期は多かった事が考えられる。 （次年度） - 次年度も①、②、③を継続実施し、さらに効率の良い運転ルート等を考える。
①不必要なアイドリングをしない	○	継続	
②定期的なオイル交換・タイヤ空気圧点検	○	継続	
③急なアクセル・急なブレーキに注意する	○	継続	
産業廃棄物量の削減	達成率	86%	（目標未達成） ①、②を実施したが建築設備の元請工事の増加が要因で目標を達成出来なかった。 （次年度） - 次年度も①、②を継続実施する。
①建設副産物のリサイクル	○	継続	
②分別の徹底	○	継続	

□ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

■ 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	一般廃棄物、産業廃棄物（建設廃棄物処理委託契約書、産業廃棄物委託契約書、マニフェスト交付、保管、交付状況報告書等）	遵守
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	建設副産物（再資源利用計画書、実施書の作成、発生の抑制、分別解体、再資源化等）	遵守
特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	特定家庭用機器の排出(テレビ、エアコン、冷蔵庫)	遵守
労働者の健康と安全を守る法律（労働安全衛生法）	解体等の作業における適正なばく露防止対策 石綿による健康障害防止対策	遵守
資源の有効な利用の促進に関する法律(資源有効利用促進法)	消費者の責務(パソコン等のリサイクル)	遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコンの廃棄 簡易点検 記録	遵守

※ 環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守している。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去３年間ありません。また、訴訟もありません。

■ 毎月第１火曜日の全体会議においてエコアクション２１の取り組み状況等内部コミュニケーションを実施している。

■ 外部から環境に関する苦情、要望などありませんでした。

遵守確認年月日：2024年4月30日

環境管理責任者：藤井健二

□ 代表者による全体の評価と見直しの指示

①全体の評価

産業廃棄物以外は、各実施項目を実施した結果、使用量を削減し目標を達成することが出来た。
次年度は目標値を再設定して行う。

②見直し・指示

次年度も、電力使用量は、高効率のエアコンに更新することを検討する。自動車燃料使用量を削減するよう継続実施すること。
水使用量は、無理のない範囲内で節水に努めること。
産業廃棄物の排出量の削減は、仕事の種類、内容に左右されるが分別、再資源化に努めること。

項目	見直しの必要性	必要に応じて変更指示
環境経営方針	否	必要なし
環境経営目標	否	必要なし
環境経営計画	否	必要なし
実施体制	否	必要なし
その他の要素	応	次年度の基準年度値の更新 2018年～2020年→2021年～2023年へ

2024年06月30日
代表取締役 藤井一博